既刊案内
（特集・主要記事）

〔９月号〕

◎ 座談会 日本水環境学会シンポジウム 富山県立大学　記念企画 富山と日本の水インフラを語る～上下水道の維持継続と人材確保～　◎ 業界イベント 若者に業界の魅力をアピール 東管機商 設備展が大盛況／写真で振り返る にぎわいを見せた設備展／管工機材業界を積極的にPR 設備総合展 就職フェア開き理解促進／新会長に本山氏（宮城県青年部会長）全管連青年部 名古屋で通常総会開く／変化に対応しアップデート コーザイ 若水会 設備展見学・総会で結束　◎グリーンインフラ支援制度集を更新しました～令和７年度版の公表～　◎令和６年度の流域治水の取組の進展について～令和７年度からの流域治水のさらなる加速化・深化に向けて～　◎グリーンファイナンス市場の中長期的な発展に向けて」の公表について　◎女性の採用と職域拡大を目的とした女性専用施設の新規設置費用を助成します　◎「公共建築工事における工期設定の基本的考え方」を改定しました～建設業の働き方改革をより一層推進～　◎全日本中学生 水の作文コンクール受賞作品が決定！～子どもたちの水への思いがつまっています～　◎「住宅取得時に購入した耐久消費財の金額」などについて新たに調査しました！ ～令和６年度住宅市場動向調査の結果をとりまとめ～　◎令和７年度瀬戸内海環境保全推進ポスターの決定について　◎ トピックス 水環境の理解促進 水の日・水の習慣行事／手引き作成へ意見交換　群マネ検討会 メンテナンスを可視化／2028年へ組織委設立 技能五輪国際大会 愛知で若者が配管など競う ◎ Photoエッセイ 風の電話…余湖 典昭　◎ 明日への道標 こんな時代だから音楽を―坂本龍一 戦うに非ず ―…高倉克也◎ 東京見て歩き（140）変わり行く新宿駅界隈…坂本弘道　◎ 特別連載 平成を偲ぶパロディ狂歌集（77）平成一人百首「組合交渉」その５（全６首）…野平大魚　◎続 馬耳東風…西村修一　◎建築着工統計〔2025年6月〕

〔10月号〕

◎ シリーズ 次世代を担う衛生・環境工学者 NO.101 東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻 水環境学講座 環境水質工学研究室准教授 アマラシリ モハン氏を訪ねて 病原性微生物の曝露低減化を目指す～「知識の急速な更新の時代」を実感～　◎ 業界イベント 設備展盛況で感謝会 東管機商 各支部が活動報告／上下水道予算確保など要望 全管連 高橋国交副大臣を表敬訪問　◎住宅の維持管理の実態などを新たに調査しました！ ～令和５年住生活総合調査の調査結果（確報）～　◎集合住宅の再エネ100％化を後押しします！集合住宅における再エネ電気導入促進事業開始のお知らせ　◎公共工事の施工体制の点検結果を公表します！～令和６年度公共工事の施工体制の全国一斉点検の結果～　◎建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めていきます　◎断熱性の高い住宅の設計のポイント、紹介します！～省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅の設計ガイドの公開～　◎令和７年度（2025年度）建設投資見通し　◎令和６年度末の汚水処理人口普及状況について ◎環境インフラ海外展開基本戦略（令和７年版）の策定について　◎公園や緑地等における下水汚泥肥料の活用に向けたパンフレットを公表しました　◎「水ネットワークふくおか」が発足 第１回講演会開催のご案内　◎ トピックス 速やかな対策要請 下水道管路の優先実施調査／インフラマネジメント推進 国交省検討委 第３次提言の骨子打ち出す／新たに育成就労制度施工へ 建設分野で外国人材を確保 ◎ Photoエッセイ アンケート…余湖　典昭　◎ 明日への道標 世界全体のためにここにいる―ユージン・スミスと水俣 ―…高倉克也◎ 東京見て歩き（141）池袋駅近辺…坂本弘道 ◎ 特別連載 平成を偲ぶパロディ狂歌集（78）平成一人百首「組合交渉」その６（全６首）…野平大魚　◎続 馬耳東風…西村修一　◎建築着工統計〔2025年7月〕

編集雑記

山に囲まれたユタ州でスキーリゾートを購入し、サンダンスと名づけた。出世作『明日に向かって撃て』で演じたサンダンス・キッドの名前に由来している。ロバート・レッドフォードの訃報を知り、わたしは彼が立ち上げたサンダンス映画祭を想起した。若手の独立系映画に対する惜しみない支援はきっと未来へのレガシーになるだろう。

稀代の二枚目俳優は若い頃、容姿で評価されることに複雑な気持ちを抱いていた。『スティング』『大統領の陰謀』『愛と哀しみの果て』などの作品で一世を風靡し、映画監督としても『普通の人々』でアカデミー賞監督賞を受賞した。来日した際、一緒に街を歩いた映画字幕翻訳家の戸田奈津子は比類のないオーラを放っていたと回想している。

社会的な問題についても率直に発言していた。「この惑星を大事にしよう」と無謀な環境破壊に警鐘を鳴らした。『裸足で散歩』で共演した友人のジェーン・フォンダは「あらゆる意味で美しい人だった。彼が体現していたアメリカを守りつづけなければならない」と語った。彼が体現したのは分断も対立も差別もない世界だとわたしは思う。

アカデミー賞主題歌賞に輝いた『追憶』は大学の同級生であるハベルとケイティーの出会いと別れを描いている。第２次世界大戦後の冷戦時代、言論弾圧の嵐が吹き荒れ、ふたりは別の道を歩く。ケイティー役のバーブラ・ストライサンドが歌う「The Way We Were」を聴くと過ぎ去った日々が昨日のように甦る。「わたしたちはいつだって想い出せる　あの頃のわたしたちを」。　（高倉）

給排水・衛生・環境設備の総合誌
月刊「コア」第432号
令和７年11月10日発行　定価1,000円（税別）
発行編集人　高倉克也
印刷所　（株）日本設備工業新聞社出版事業部
発行所　〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13
（野元第１ビル）（株）日本設備工業新聞社
TEL（03）3496－4774（代）
FAX（03）3464－1884